

合格のためにー製図試験.com マニュアル

ver.230723

製図試験.com



2023(R05)「図書館」

本年度課題は「図書館」です。

製図試験 com の山口です。この度は、数ある製図試験サイトの中から製図試験 com のこの合格マニュアルにたどりついていただき、心からお礼申し上げます。本年度課題は、R01「美術館の分館」以来 4 年ぶりに公共施設系の「図書館」となりました。H24「地域図書館」以来の図書館課題です。この合格マニュアルは、資格学校・独学・そして製図試験 com ご利用いかんに関わらず、あなたが合格するためにどうすればよいのかをまとめています。

3 年間続いた基準階のエスキース知識は、公共施設系ではほとんど役に立ちません。特に大きく異なるのは、1) コア計画、2) ゾーニングの考え方、3) 斜線高さ関連等です。むしろ作図以外は、一旦白紙に戻して、公共施設系に頭を切り替える必要があります。

合格からの逆算—本年度課題は「図書館」。

はじめまして

製図試験 com の山口です。この度は、数ある製図試験サイトの中から製図試験 com のこの合格マニュアルにたどりついていただき、心からお礼申し上げます。

製図試験 com 利用者のみではなく、資格学校利用者、独学等の方にも参考になるようにこのマニュアルを構成しております。またメールマガジンを無料で配信していますので、ご登録いただければ幸いです。

合格するために何が必要なのでしょうか。

さて、早速ですが、あなたが合格するために、どのような力が必要だと考えていますか。

そしてそれはどのように身につければよいのでしょうか。私たちと共通のゴールとしての合格を見定め、合格から逆算することが、最初に行っておくべきことです。

どうすれば合格できるのか、そのラインは一体どのあたりにあるのかが不明な学習は、羅針盤もレーダーもない航海のようなものです。まずその設定を確定することが合格への第一歩です。

必要な5つの実技能力—読解力・エスキースカ・作図作文力・チェック力・時間管理能力

製図試験は、1問を6時間30分かけて解くという試験形式です。そのために問題文を精緻に読む**読解力**、その読解からプランを組み立てる**エスキースカ**、それを表現する**作図作文力**がその基礎となります。

そのうえで、完成した答案のエラー抜きを行う**チェック力**、そして6時間30分をコントロールする**時間管理能力**が不可欠です。その5つの実技能力をバランスよく備えていないと安定した合格ラインに入ることは難しいですし、またその逆も真なりです。

この5つの実技能力を鍛えるという視点を一時も忘れることなく、どう身につければよいのか＝合格からの逆算となります。

そしてこの5つの力を下支えするのが、次の3点です。

1) ミスを最小限にする繊細さ

製図試験は、かつてのざっくりした様相は影を潜め、難問ではなくなりましたが、平易になった代償として、小さなミスひとつで不合格になる試験と変貌しています。人間誰しもミスはしますが、そのミスをミスとして見つけ出し、最小限に抑えられる繊細さが現在の試験には求められています。試験に向き合うとき、指示されたことを淡々とそつなくこなす繊細さを常に意識しましょう。

2) 動じない俯瞰できる図太さ

その一方で、試験当日にはこれまで観たことのないような試練が待ち構えており、全体から俯瞰できる図太さが求められます。これも日々の課題をこなす中で、本試験をイメージしつつ逆算して位置づけられるのかで大きな差となって蓄積されます。

3) 担保するのは自信というメンタル

合格の一点にフォーカスし、繊細さと図太さを手に入れることを意識しつつ、基本となる5つの実技能力を身につけた者が得られるものが**「自信」というメンタルの強さ**です。強き者をくじき、弱き者を助けるようなメンタルを鍛え上げることが、全カリキュラムを通じた最終目標です。その一点を見つめて日々是精進すべしということが、合格からの逆算となります。

「図書館」攻略に当たって

本年度課題は4年ぶりの公共施設系「図書館」となりました。令和2-4年受験しかされたことがない方には、かなり厳しく、またこれまでの知識があまり役に立ちません。しかしそれを読み替え、コンバージョンしていく力もまた一級建築士に求められていると考えておきましょう。そういう意味で本試験は既に始まっているのです。

2023年7月23日

製図試験 com 代表：山口 達也

「図書館」攻略

学習方針

①まず図書館の基本的機能を押さえること

図書というモノの動線計画、貸出、返却動線等、図書館の持つ機能を押さえましょう。

②複合の仕方について理解しよう

図書館が主機能となりますが、どのような施設が複合されるのかは、考える全てのケースについてまとめておく必要があります。

③立地条件、敷地条件を捉えよう

立地条件、敷地周辺条件で複合要素は変わってきます。8月上旬までに様々な図書館を見学しておきましょう。

④公共施設型のエスキース手法をマスターしておこう

まず公共施設の基本を理解し、そのエスキース手法を固めるようにしてください。その上で、図書館独特の動線がありますから、それを加えてエスキースできるようにバージョンアップしていくことが望ましいです。

⑤不可欠な作図対策

図書室レイアウトで時間がかかることが予想されるため、時間を掛けずに自由にレイアウトできることが合格への条件となります。練習量に比例するため、しっかり暗記して練習すれば、確実にスピードは上がると考えられます。

⑥要点記述にも要注意

R04 昨年なら要点記述の切口が変わりました。おそらく本年度も R04 の延長線上で行われることは必至と思われます。

⑦おそらく平易な出題と予想

R04 同様、非常にシンプルで平易な出題になる可能性が高いと予想しています。基本に忠実に、しかし建築計画を含む全体の底上げをして本試験準備を仕上げていきましょう。

学習ステップ - できる方はどんどん前倒しに進めてください。

—8/15 お盆までに：基本を身につける

- ・基本はトレースから。基本的な図書館計画をトレースしましょう。
- ・次に理解を深めましょう。公共施設型エスキース手順、作図手順

—8月末：基本を確立する

- ・図書館課題を実際に解いて勘所を掴むこと。
- ・公共施設型エスキース・作図手順、要点基礎の確立。

—9月中旬：弱点補強

- ・非図書館部分がイレギュラーな課題に取り組む
- ・エスキース、作図、計画の要点の弱点補強をする

—9月下旬：弱点補強2

- ・非図書館部分がイレギュラーな課題に取り組む
- ・エスキース、作図、計画の要点の弱点補強をする

—10月8日に向けて：クールダウン

- ・使えるモノと使えないモノの峻別、種々の弱点補強、作図手順でのミスチェックのまとめ+体調を整えること

8月末までに基本を確立すること

製図試験.com 3つの特徴

2023年度の製図試験.comは、多くの受験生から選ばれてきた内容をさらにバージョンアップして、下記の3つの特徴を掲げました。

1.100%オンラインで学べるスクールパッケージ

製図試験.comがこだわっていること。それはあなたが自身を持って試験に臨めるためにはどうすればよいのか、ということです。そのためには、あなたが能動的に学んだ！努力してきた！力をつけた！と実感できることです。そう確信していただけるようカリキュラムをさらに見直し、多忙なあなたのスキマ時間を使って学習できる環境を提供します。それは資格学校の代替案ではなく、資格学校にはない100%オンラインで学べるというスクールパッケージを作り上げることでした。その特徴をご紹介します。

(1) エスキースをステップに細分化して理解しよう

図面だけを添削しても、その過程の間違いを指摘しないと修正できません。製図試験.comでは発足当初からエスキース手順を確立し、また細分化して解説した「ステップで攻略するエスキース」（学芸出版社刊）があり、「図書館」課題には最適な基礎テキストとなっています。加えて「図書館」飲みを分析した「課題分析帖」「図書館パーツ集」を準備しています。

(2) 添削を学べるカリキュラム

添削については、4桁コード化がほぼ完成してきます。どの項目がどれだけの減点イメージなのかを理解できるよう、独自の添削チェックシートを毎回の添削に添付しています。

(3) 気軽に質問できてかつ即答するシステム

コミュニケーションツールとして、LINE ライクな BAND、ZOOM というアプリを導入しています。もちろん、電話、メールでも気軽に質問していただけます。例えば、「二方向避難がわからない」→「どの部分がどうわからないのか今から zoom しましょかー」こんな感じです。特別な状況がない限り、即答しています。

(4) すべての添削図面を共有する集合知

シークレットにして欲しい受講生を除くすべての図面とその添削図をメンバーズサイト BAND 上で共有しています。原則すべての情報を共有することで、全体の状況や他受講生のミスから学べることが多いからです。これは集合知となって、全体のレベルを上げていく必要不可欠な方法であると考えています。

(5) 必要にして十分な問題数

昨年までは問題数を絞って後半戦 10 題くらいで指導していたのですが、問題数が少ないことで不安になる方がおられるということで、2023年度は 15 課題に増強しました。全課題を解く必要はなく、添削は 10 課題分とし、あとは実費オプションとしました。

(6) アクティブラーニングを用いた講義

資格学校と異なり、製図試験.comでは、事前に問題を解いておき、解いた受講生同士がディスカッションしたりプレゼンするところから講義やワークを行います。会議の前に資料を読んで議論から始めるのか、会議で始めて資料を配るのかの違いだとお考えください。

(7) 完全 PDF 対応も可能

海外からの受講生も毎年おられます。紙ベースではなく、PDF でのやり取りのほうがよいという受講生も少なくありません。そこで 2023 年度から希望者には完全 PDF 対応することとしました。また郵送がなくなるため、費用の割引も行います。（加えて PDF はフルカラースキャンングサービスを行うことになりました）

(8) BIM-Revit を使った 3D 解答例

3次元で空間把握できるよう全てではありませんが、BIM-Revit を使った 3D 解答例をアップしています。また製図試験には関係ありませんが、Revit のスクールも別途行っています。

2. 小回りの効く融通性ある組織

製図試験 com は、代表である私（山口達也）の私塾として、23年にわたって運営しており、いい意味でも悪い意味でも小回りの効く融通性のある顔が見える組織です。問題文の折り・発送から解答例の作成、質問の受け答えまで、多くは私が絡んでいます。また添削する講師とも連携がとれています。2023年度はコース生 3/4 でも 90名までとし、全員の顔が見える運営に努めてまいります。

3. リーズナブルな価格構成

前述したように小さな組織ですから、営業マンもいませんし、大きな教室の家賃もありません。そういった経費を除いた分、内容にかかわらず、大手資格学校では決して実現できない価格構成となっています。

この資格にかけられる年額は、給与の1-2ヶ月分が上限だと思います。それ以上は掛ける試験ではない。ということで十分な学習アイテムと内容を最大化し、かつ費用を抑えてパッケージ化し、最小5-30万円をひとつの目安としています。

Cf：重要な経験値を上げる方法

減点法で採点される製図試験で合格するためには、いつも最低点はキープできること、そのために弱点をなくす学習方法が求められています。しかも短期決戦でその力を身につけねばならないとした場合、短い時間で弱点を克服することが不可欠となります。

そのための重要なノウハウとして、「細分化」してできるようになるまで学習することをおすすめしています。

例えば、動線図を描くのが苦手、といいつつ、これまで動線図だけを集中的に練習したことがあるでしょうか。描けるようになるまで練習してきたでしょうか。エスキースのときに1回だけ描く、つまり課題数しか動線図を練習してこなかったのではないのでしょうか。

結局、本試験で動線図が甘かったために不合格になったとしても、なんとなくできなかったということで、また翌年、一生懸命、1問1問を丁寧にジック市時間をかけて解く、まではいいんですが、再び動線図が穴のままではそこから不合格への道が開いたままの学習をしていたということになっているわけです。

製図試験 com ではエスキースを13ステップに細分化し、それぞれを徹底的に理解し、考え、さらに自らの手法として固めていただくことをひとつの手段としています。弱点がわかるまで細分化し、それができるようになるまでトライする。この方法を身につけると、様々な目前の問題点も、できるようなところまで細分化してこなしていくという手法として使うことができるようになります。これが製図試験の醍醐味だとも思っています。

Cf：本来は楽しい建築計画

製図試験は、いよいよ制度疲労を起こしており、中味が空洞化していますし、その空洞化していることを暗記する体力勝負のような資格学校のやり方では、学習するモチベーションをキープすること自体がもう修行レベルだと思われます。

ですが、本来、2,000m²級の基本計画を年に20も30もやれること自体、実は生涯に経験できないような貴重なものです。製図試験 com では少なくとも設計する楽しさを共有しつつ、学べる環境づくりをしたいと考えています。

合格スケジュール

製図試験後半戦攻略スケジュール

ver.2023/07/23

項目\日程	7月	8月		9月		10月	備考
	基礎知識力	課題分析	問題対応	弱点	まとめ		
試験	学科○					製図○	
課題発表(7/22)	○						
課題説明会キックオフ	○						オンラインで開催
オンライン合格基礎講座							4月からスタートいつでも受講可能
オープン課題	○						無料公開の学習用課題
後半戦通信添削コース		1	2	3	4		コース3/4あり。
基礎問題集4課題			○				基礎問題集(問題/解答のみ)
本年度パーツ集	○*1			○			本年度用パーツ集
シンクロ二模試						○	上記コースに含まれます。9月27-28日予定
直前講習会						○	
他社分析2課題						○	模試当日夜に直前まとめを開催
セミナー(東京・大阪O/L)	○	○	○	○	○	○	計6回程度を予定

*1 :h24版を事前アップ

後半戦：2023年本試験対応（15課題）

課題発表とともにオープン課題を公開します。その後、4 添削課題+4 課題変形課題を隔週出題します。またお盆前後に、2023年度課題解説テキスト「課題分析帖 2023」とパーツ集、基本問題集4課題を送ります。

8月未までの基礎期間の目標も、エスキース手順と添削手順の理解、3時間作図、プランニングパーツの構築となります。

9月からは弱点補強に特化し、9月末にシンクロ二模試を行います。その上で最終、他社分析課題2課題予定しています。試験対策としては、できるだけ平常心でどう臨めるのか、という点を共有してまいります。

□スケジュール詳細 (ver.230723)

Term	月日	カリキュラム	内容	備考
後半戦	7月23日	学科試験(課題発表)	21日頃課題発表予定	
	7月21日	オープン課題	即日公開課題	
	7月23日	申込開始		
	7月30日	第1課題トライ	本試験モード課題	
	8月6日	第1課題R	第1課題変形課題	
	8月11日	第2課題		
	8月11日	大阪夏期講習会	12日は作図講習	オンラインでも実施
	8月13日	東京夏期講習会	14日は作図講習	
	8月20日	第2課題R	第2課題変形課題	
	8月27日	第3課題	本試験モード課題	
	9月3日	第3課題R	第3課題変形課題	
	弱点補強	9月7日	学科試験合格発表	
9月10日		第4課題	本試験モード課題	
9月17日		第4課題R	第4課題変形課題	
9月24日		後半戦シンクロ二模試		
直前	9月27日	他社分析課題A	資格学校A傾向分析課題	水曜日定休の方は別途ご相談ください。
	9月27日	他社分析課題B	資格学校B傾向分析課題	
	10月1日	まとめ+R		
	10月8日	製図試験		

学習アイテム解説

テキスト・教材

無料メールマガジン ステップで攻略するエスキース（学芸出版社刊）

注）同テキストのみ既に持っている方が多いため、教材には含んでいません。

各人ご購入をお願いします。



製図試験 com 基礎講座

ステップで攻略するエスキースをもとに、エスキース、作図、要点のオンラインツール

Udemy による講座（15 時間程度）です。スキマ時間にご利用いただけます。

ステップエスキースの理解を深める基本としておすすめします。

課題構成

課題は、問題文 + 答案用紙 + エスキース用紙 + 解答例 + 解答例エスキースが一式のセットとなっています。

（ただしオープン課題、問題集、他社分析課題については、一部省略することもあります）

添削は通期 20 回分、後半戦 10 回分が含まれています。（それ以上は別途費用が必要です）

後半戦：15 課題（オープン課題・4 課題（+ 変形課題 4 課題）・模試・他社分析課題 2 課題・問題集 4 課題他）

講義：ZOOM（1 課題につき 1 時間程度、昨年実績 20 時間）

2023 年度課題分析帖 + まとめ資料 用紙（10+10 計 20 枚）、サブテキスト、その他製図道具等

コースと費用

製図試験 com コース費用一覧表

ver.230723

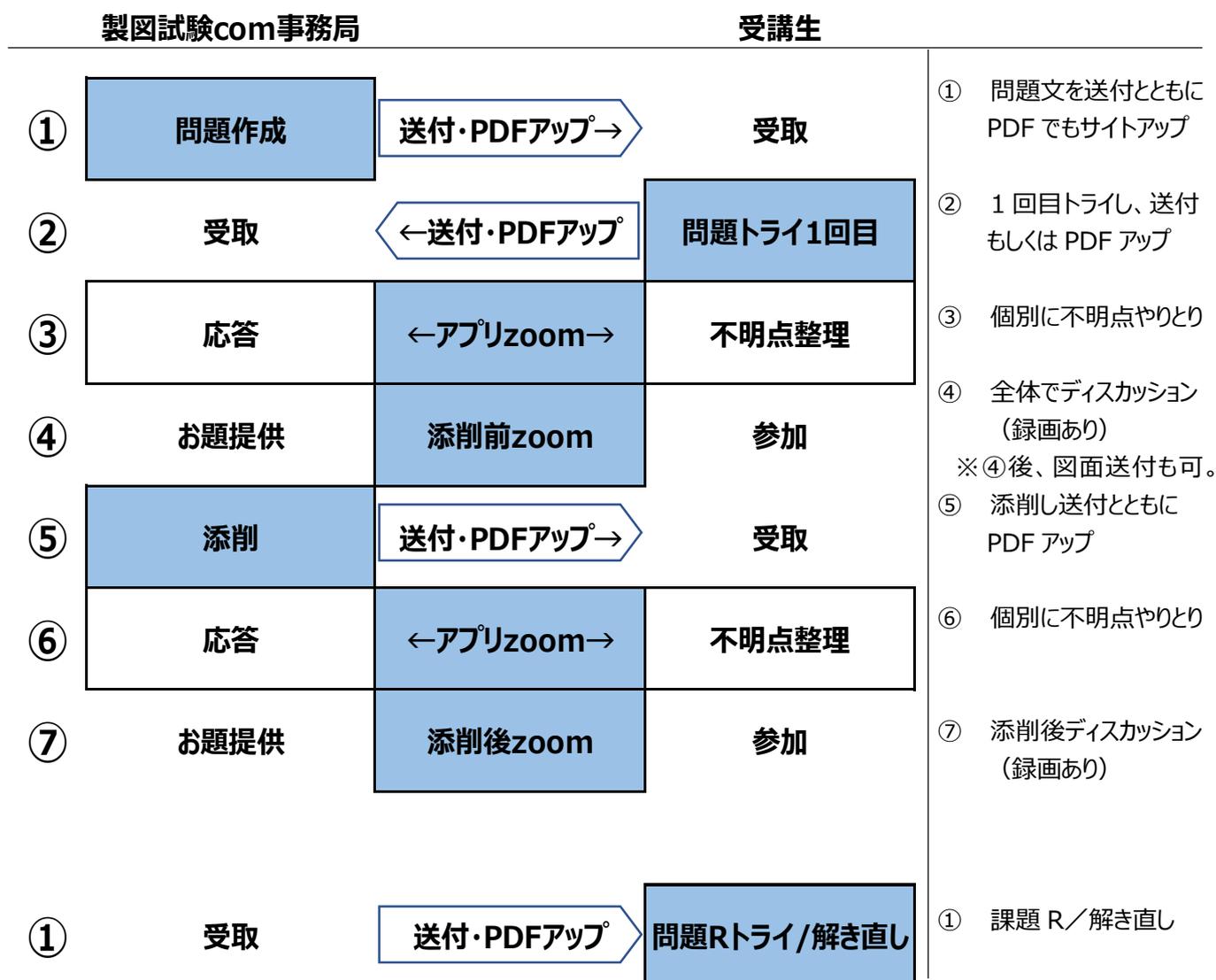
コース	項目	基礎講座	教材後半戦	後半戦添削	後半戦通学	費用税込	既添削生費用税込	備考
後半戦								
	製図試験com基礎講座					—	—	必須
	コース1教材コース					95,000	75,000	教材のみ添削なし
	コース3オンライン添削コース					200,000	170,000	教材・添削込
	コース4通学塾コース(東京・大阪)					310,000	270,000	通学5回・自主ゼミ5回込

- ・本年度課題が公共施設系「図書館」となったことから、基礎講座を必須とし、価格を一部改定しました。
- ・自学自習できる方は教材コースを、添削が必要な方はオンライン添削コースをご選択ください。
- ・東京・大阪では、スクーリングを行います。スクーリングご希望の方は通学塾コースをご選択ください。
- ・コース 1/3 において紙ベースは一切不要で PDF のみで良い方は、後半戦 1 万円減額します。
- ・添削は 10 回分の費用となっています。
- ・追加添削はコース 1 で 11,000 円/課題、コース 3 で 5000 円（税込）です。添削への質問は常時受け付けています。

その他：図書館を徹底分析した「課題分析帖」+ パーツ集、9 月 2 4 日シンクロ模試、基本問題集等、販売予定。
詳しくはメールマガジンで連絡いたします。

オンライン添削イメージ

オンライン添削は下記のような手順をイメージしています。例年、個別指導を活用される方が半数くらいしかおられないので、2023年度は、できる限り、活用していただけるよう、不明点整理を行えるような手順を意識して作成しています。



製図試験.com ご紹介

名称：製図試験.com

(<https://seizushiken.com>)

運営：有限会社 I.L.D.教育事業部

大阪事務局

〒554-0012

大阪市此花区西九条 2-7-8 田丸ビル 3 階

電話 06-7181-3701 FAX 廃止

メール：guchi@seizushiken.com

銀行：Paypay 銀行すずめ支店

普) 3175127 コ) アイエルディ

郵便振替：00970-2-222802 コ) アイエルディ

関連サイト：FB <http://facebook.com/seizushiken/>

ツイッター <http://twitter.com/seizushiken/>

東京講習会場



〒101-0042

東京都千代田区神田東松下町 33
COMS HOUSE 2F としまち研 会議室

JR 神田駅 北口・東口から徒歩約5分
(京浜東北線・山手線・中央線快速)
都営新宿線 岩本町駅 A1出口4分
東京メトロ銀座線 神田駅 3番出口4分
東京メトロ日比谷線 秋葉原駅 5番出口7分
JR総武線 秋葉原駅 昭和通出口9分
東京メトロ丸の内線 淡路町駅 A1出口9分



代表：山口 達也 (ハンドルネーム：曾根 徹)

1962年11月26日生

大阪工業大学建築学科都市計画研究室

神戸大学環境計画学専攻、工学修士 (早川和男研究室)

阪神電鉄就職後、レンゾピアノビルディングワークショップに転職。

都市計画コンサルタント、経営コンサルタント、CM 会社等を経て、

有限会社 I.L.D. を設立。セルフビルディング中心に設計活動の傍ら、

2000年に「学科製図.com」を設立。

22年間で3,000名の一級建築士を輩出。

2015年コンテンツをまとめなおし、「製図試験.com」を立ち上げ。

一級建築士設計製図試験だけに特化したしくみを開始。

業界初のオンライン添削・ZOOM ウェビナーを開始。